

日光白根山山行記録



目的地	日光白根山	期 日	平成17年7月2日(土)
山人	笠原正雄単独	特 記	伊香保泊まりのついでに登る。

地 点 名	(着)～(発)	天候	記 事
与 板	午前6:10発	曇	湯沢～沼田間高速を使う。走行190km、沼田ICからは50km。
菅沼茶屋脇 登山口 P	10:10～10:25	霧雨	沼田ICから沼田街道に出ると晴れ、30℃を表示していた。片品を過ぎ峠道で一時雨でワイパーを回す。ここに来て雨上がる。20台程度あり。
弥陀ヶ池	11:45～11:50	曇	樹林帯の岩つきの登りから座禅山を巻く道になり、池に出るとようやく前方の展望が開けて山頂が見える。木道右手の座禅山斜面はシラネアオイの群生保護地。花は終わっている。
	12:20	晴	弥陀ヶ池の分岐を過ぎると丸沼分岐を左折する。林間の登りから、岩場の急登となる。晴れて日差しが強くなり、日焼け止めクリームを塗る。コイワカガミが多く見られる。丸沼・菅沼を望む。五色沼とそのコース上を歩く人も見える。
日光白根山	12:50～1:45	〃	一つピークを過ぎ、登り返して山頂。白根山神社の祠の前の広場で昼飯。久しぶりに火を使う。丸沼高原からロープウェイで上がったツアー団体が賑わっていた。中禅寺湖と男体山、燧ヶ岳や上州武尊。ただしピークは雲が掛かっている。
鹿を撮影	2:30	〃	砂礫の下りで黄色い花(ヤマガラシ)を撮影するも、風で花が揺れて、うまく撮れない。林に入り、物音と泣き声で鹿に気付く。
五色沼	2:45	〃	2:35 非難小屋を通過、一瞬雪を踏む。時間が遅いせいか弥陀ヶ池までの下山路では外国人ペアと行き交っただけで、静かだ。この2人とは山頂直下とここと2度逢った。一度登り返して弥陀ヶ池へ。下山者が数人いた。
弥陀ヶ池	3:10～3:15	〃	花や鹿で時間を費やしたので、ここからは少しピッチを上げて下山する。数パーティーを追い越したが、それでも若者二人に追いつかれ、追い越される。途中、白靴下が枝に置いてあった。道脇にタオルがあった。いずれも山ではゴミだ。タオルは拾い持って下山する。
登山口 P	4:10	〃	3～4台になっていた。一路伊香保へと急ぐ。
沼田街道から 国道17号へ		〃	どうもこし街道でそれを買おうと店に入ったが、売人が不在で、万引きするわけにもいかず、あきらめる。まだ時期が少し早いようで半数以上の店が閉まったままだった。
千明仁泉亭	6:25着	〃	全員で9人であった。入浴し何とか宴会開始に間に合った。
就 寝	12時ころ	〃	皆で恒例のラーメン屋へ行く。こんな夜更かしは久しぶりだ。

当初、宿に近い小野子山を考えたが、渋川方面の予報は最高気温 33℃であった。これを避けるため、足を伸ばし標高の高いこの山を目指した。このほかに栗川原林道からの皇海山も検討したが、この長い林道と雨後の不動沢に気が進まなかった。以前日光に向かったとき入山口をチェックしておいたので、アプローチにストレスは無かった。

弥陀ヶ池分岐から五色沼へと逆コースをとる登山者もいて、自分が登った急岩場を降りてくる者が結構いた。どちらかと言えば、急岩場は登りにとったほうが良いと思われる。

登山道もしっかりしているし、歩行時間も中高年者にとっては丁度良い山だ。したがって、山頂は人が多かった。